

第1回 福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議

# 福井県高浜町の取り組み説明資料

令和3年6月21日  
福井県高浜町

# 高浜町の概要①

福井県の最西端に位置。8kmの砂浜に8つのビーチ。人口1万人の農業・漁業・観光業、原子力発電所のある風光明媚でコンパクトな町。



## 高浜町の概要②

- 昭和30年2月に、旧高浜町・和田村・青郷村・内浦村の1町3村が合併
- 人口は、平成2年をピークに減少
- 昭和40年頃から原子力発電所の誘致活動を開始、昭和49年に1号機、昭和50年に2号機、昭和60年に3、4号機が運転開始

### ● 人口

昭和30年 12,772人（合併時）

昭和40年 10,773人

平成2年 12,425人

令和2年 10,332人 国調速報値

### ● 産業

昭和40年頃 第1次産業中心

昭和45年頃 高浜発電所建設開始

昭和50年頃 海水浴客100万人

→令和元年夏 18.8万人

※観光・原子力産業の拡大により

一次産業から三次産業に産業構造が変化

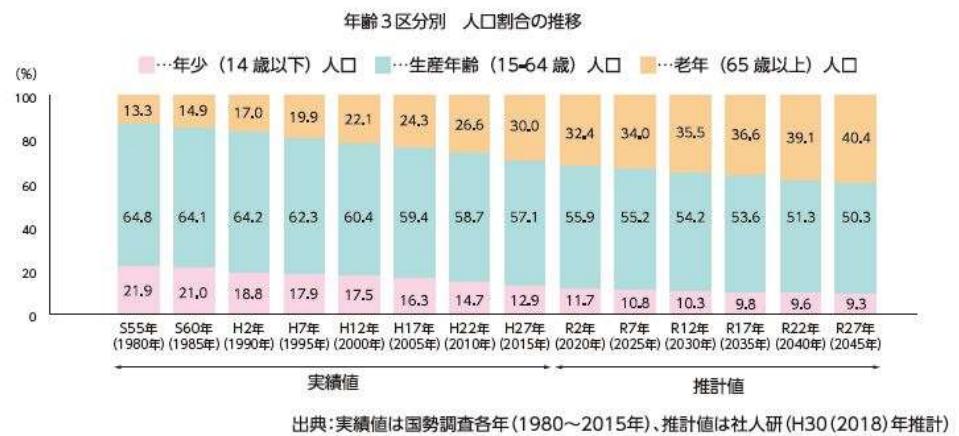
### ● 財政

昭和30～40年代 財政逼迫

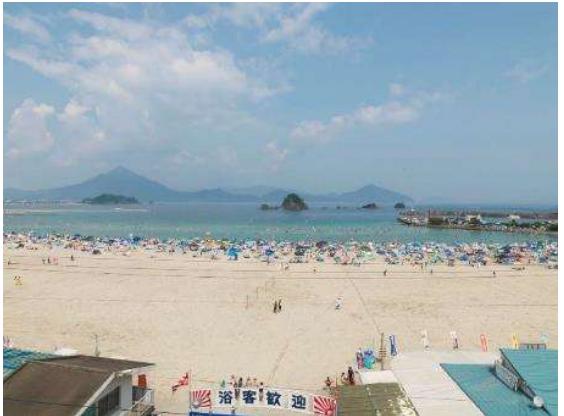
昭和50年度以降 地方交付税不交付団体に

平成20～27年 地方交付税交付団体に

平成28～令和2年 再び不交付団体に



## 高浜町の3つの百選



日本の快水浴場百選



夕陽百選



棚田百選

## 高浜町の3つのブランド認証

ビーチの国際環境認証  
ブルーフラッグ  
since2016



地域医療健康の  
まちづくり2018



地域でくるむ  
地域をくるむ  
子育て支援kurumu



GOOD  
DESIGN  
AWARD  
2019



## I ① 高浜町の将来像と重点プロジェクト

【将来像】くるむつなぐかがやく～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

【重点プロジェクト】

- 地域でくるむ暮らしよさ実感プロジェクト
- 多様な関わりでつなぐ新たな連携・交流促進プロジェクト
- 魅力を高めてかがやく賑わい創出・産業再生プロジェクト

地域でくるむ  
暮らしよさ実感プロジェクト

- 子育て世代の負担軽減
- 認定こども園の整備
- 新たな基幹公園の整備
- 社会福祉複合施設の整備
- 住民主体の健康まちづくり活動の推進
- 地域医療の環境整備・地域医療の担い手育成
- 公共交通の利便性向上



## I ② 高浜町の将来像と重点プロジェクト

【将来像】くるむつなぐかがやく～自然とともににある暮らし 若狭たかはま～

多様な関わりでつなぐ  
新たな連携・交流促進プロジェクト

- “ブルーフラッグ”認証取得と環境教育推進
- 薬草産地化推進
- 交流・関係・活躍人口の交流促進
- 協働のまちづくりの推進
- 地域活動団体への支援
- 学校地域の連携促進
- 児童生徒のまちづくり参画



## I ③ 高浜町の将来像と重点プロジェクト

【将来像】くるむつなぐかがやく～自然とともにある暮らし 若狭たかはま～

魅力を高めてかがやく  
賑わい創出・産業再生プロジェクト

- 6次産業施設の整備
- 漁港施設の更新支援
- 城山荘・城山公園の再整備
- 大規模園芸ハウスの就農・営農支援
- 産業分野の人材育成・多様な働き方推進
- 創業支援・サテライトオフィスの誘致



## 2 高浜町が取り組んでいきたいこと

- ・ワーケーションを入口に住民と関係人口による共創・社会実装型スタートアップの創出
- ・産業分野の人材育成や多様な働き方の推進など、地域内の企業と人材のポテンシャルを高め、人が集まる、企業が集まる好循環の創出

### 高浜町

交流・関係・活躍人口の交流促進  
産業分野の人材育成・多様な働き方推進  
創業支援・サテライトオフィスの誘致

### 福井県

WAKASAリフレッシュエリア  
人や企業が集まる嶺南Eコストエリア  
スマートエネルギーエリア形成

#### 個人の視点

##### Well-Being※を高める

※心身ともに、さらに社会的にも健康な状態を指し、満足した生活を送れる状態

- ✓ 移住・Uターン・二地域居住
- ✓ 多様な働き方
- ✓ 里山の緑、青い海、白く長い砂浜など豊かな自然
- ✓ 質のいい子育て・教育環境
- ✓ つながりの地域医療

#### 企業の視点

##### 人と仕事の好循環を創出

- ✓ 働き方改革
- ✓ 優秀な人材の確保と定着
- ✓ 社会課題解決型ビジネス
- ✓ 魅力ある仕事の創出
- ✓ 多様な産業育成
- ✓ サテライトオフィス誘致

#### 社会（未来）の視点

##### SDGs視点で民間連携・住民事業を創出

- ✓ スマートで持続可能な社会の実現
- ✓ 原子力や再エネなど様々なエネルギーを活用した地域経済の活性化やまちづくり
- ✓ ハイテク（最新の環境技術）とローテク（自然風土を活かした生活文化）が融合した、小さなまちならではのエコなまちづくり

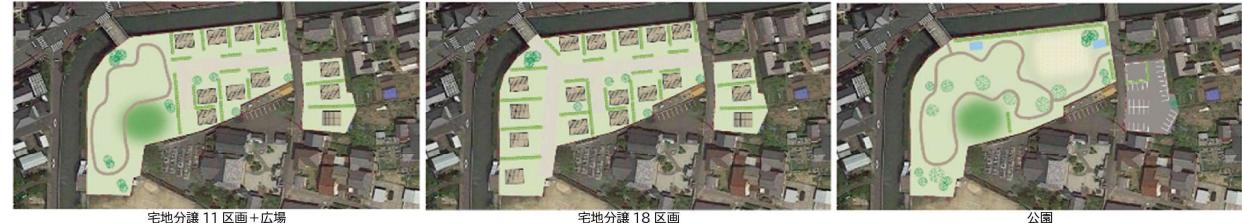
### 3 高浜町が現在進める主なプロジェクト

リーディングプロジェクト①-1

#### 5-1. 福祉拠点の創出と公園づくりで「歩きたい」を Update

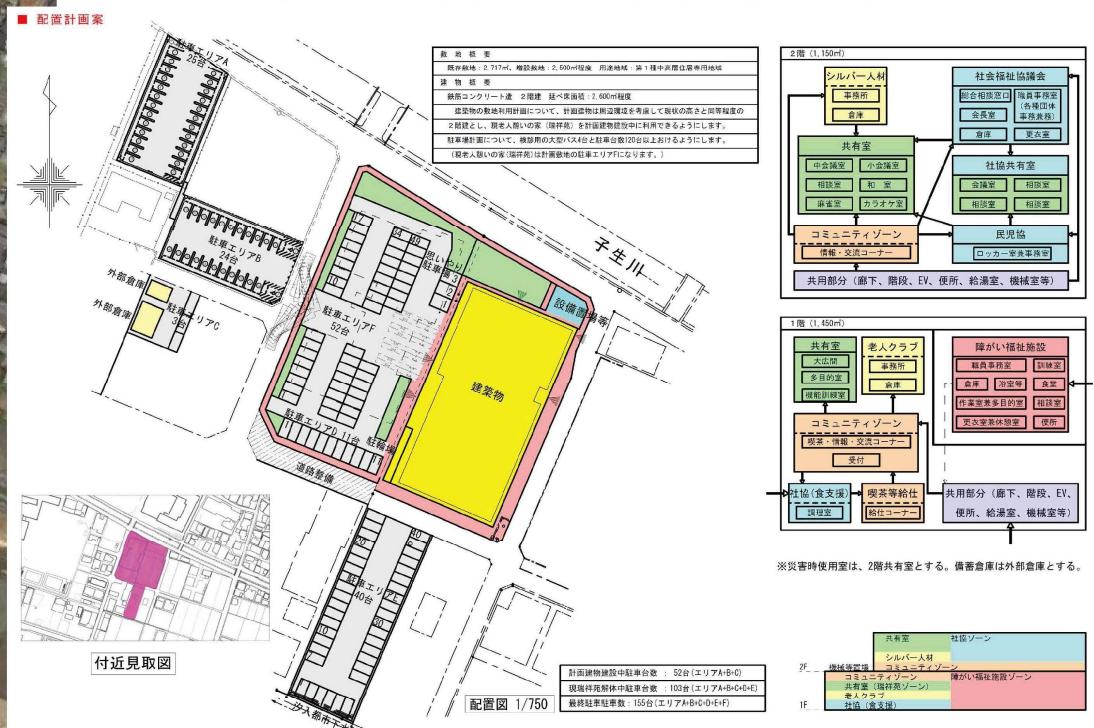
##### 旧役場跡地の活用イメージ

周辺の空き地での民間分譲が進んでいることや立地適正化計画の居住誘導区域内での魅力的な住環境整備を進める必要があることから、**民間活力を活した「宅地分譲」や「緑を感じる広場」など、まちなか居住を重視した取組み**を推進する。



##### 地域福祉の拠点整備

地域福祉拠点として、中心市街地である老人憩いの家（瑞祥苑）の隣接地に、**社会福祉協議会、老人憩いの家（瑞祥苑）、障がい福祉施設**が一体となった複合施設の整備を行う。

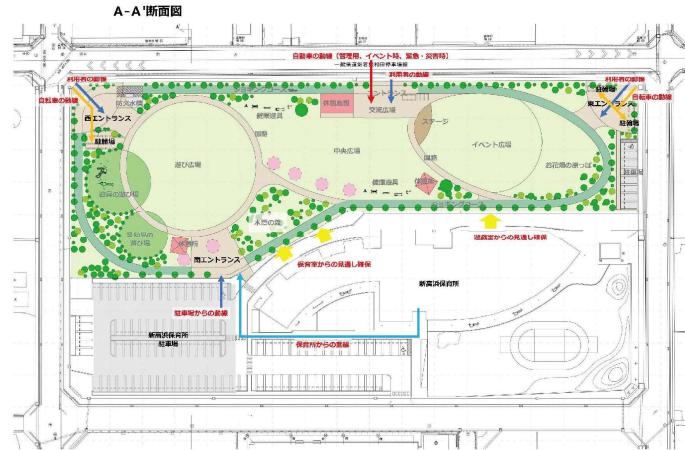


## 5-1. 福祉拠点の創出と公園づくりで「歩きたい」を Update



### (仮称)高浜公園整備基本計画・(仮称)高浜町立認定こども園の整備

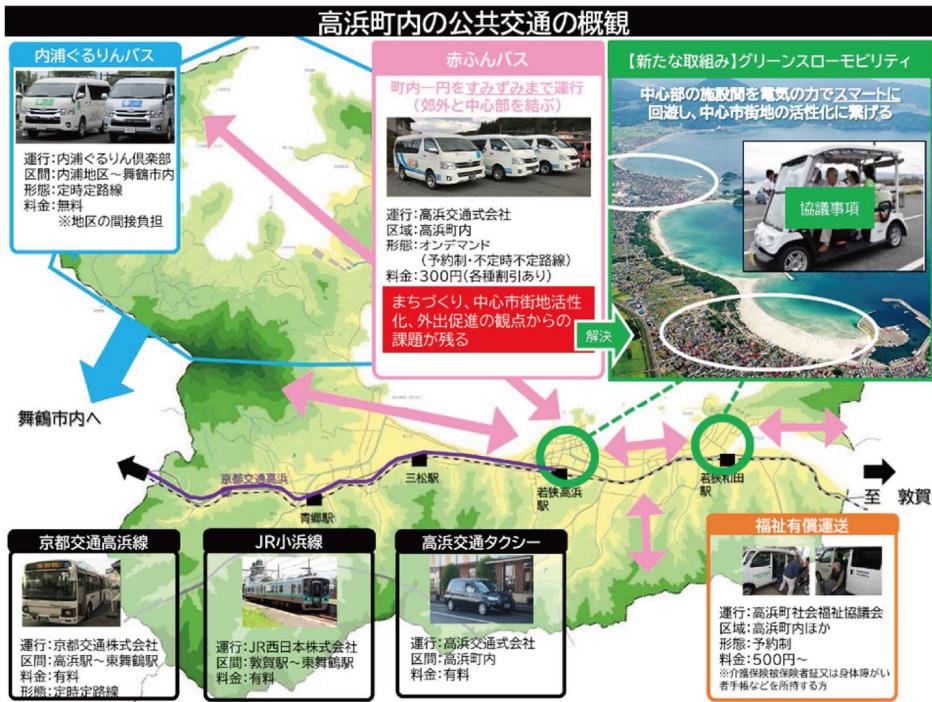
老朽化した高浜保育所を、新たに**幼保連携型の認定こども園**として整備する。  
同一敷地内に子どもから高齢者まで利用できる公園を併設することで、自然を身边に感じ、また多様な交流により、子ども達が健やかに成長できる環境を整えていく。



## 5-2. 回遊性を生む移動サービス（シェアリングエコノミー）で「交通」をUpdate



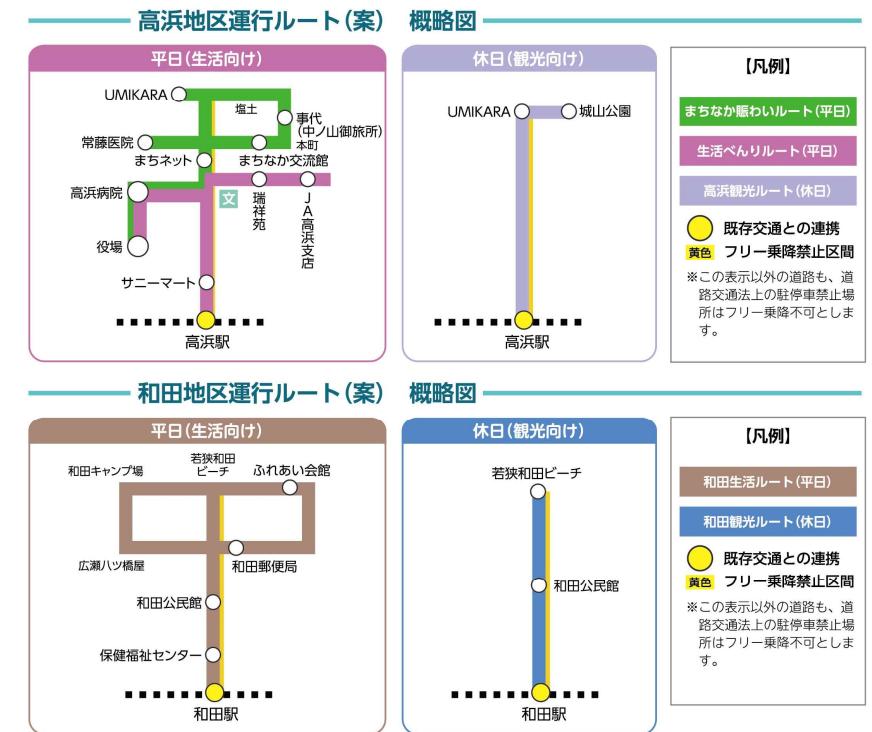
グリーンスローモビリティとは  
電動で、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の乗り物です。



**町民の新たな足。**特に市街地の公共交通に期待。  
**気軽に外出できる環境づくり**で、健康増進、地域福祉の向上を！  
また、観光客の二次交通としても利用できる。



## グリーンスローモビリティの実証実験を行います



地区・ルートの関係性	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	高浜地区	高浜地区	和田地区	高浜地区	高浜地区	和田地区
平日	まちなか軽わいルート(平日) 生活べんりルート(平日)	まちなか軽わいルート(平日) 生活べんりルート(平日)	表田生活ルート(平日)		まちなか軽わいルート(平日) 生活べんりルート(平日)	
土日祝日	高浜地区	高浜地区	和田地区	表田観光ルート(休日)		

## 5-3. スマートな暮らし方。次世代技術で「暮らし」を Update

### スマートなくらしを実感できるモデルエリアの形成

町内外の人と人、人と企業、企業と企業がつながる、交流・共創の場所

最先端の技術と豊かな自然環境の中で、スマートな自分らしい暮らしを見つかる場所



若宮海水浴場に面した住宅街エリア（古くは京阪神富裕層の別荘エリア）  
町有地 約 7,400 m<sup>2</sup>



#### ①地域内外のつながり深化による共創の実現

- コワーキング施設・サテライトオフィス
- 交流・共創のための施設整備  
(カフェ、ミーティング、チャレンジショップ、キッチン、ワークスペース)

#### ②先進的な“田舎”居住スタイルの体現

- 多様なライフスタイル ×暮らしよさ（お試し賃貸集合住宅、戸建分譲住宅）
- 多様な働き方の実現（ワーケーション、二地域居住）
- アクティビティコンテンツ（オンライン予約と決済）

#### ③エネルギー利用の高度化コンテンツの実装

- スマートハウス整備（省エネ、IoT、HEMS、PV）
- EVカーシェア・グリーンスローモビリティ
- 先端通信環境整備・RE100 エリア



#### スマートタウンモデル整備（旧若宮苑）

福井県Eコスト構想と連携



## 5-4. 高浜町の循環とつながりをテーマに「海」をUpdate

高浜に魚市場を残したい。ブランド魚から低未利用魚まで多種多様な新鮮な魚たちを持続可能なカタチへ。

漁獲量減少、魚価低迷、漁業・水産業者の収入悪化、担い手不足、消費者の魚食離れ。

そんな中、海の6次産業化をきっかけに、**地場産業の再生**がはじまっています。

## リーディングプロジェクト④

農林水産省  
サステナアワード 2020  
『SDGs賞』受賞



**周辺の環境**

UMIKARAの周辺には、港湾沿いに魅力的な施設が並んでいます。海沿いでの多様な過ごし方のできる場所で、高浜の海をいろいろな角度から楽しめます。

**1 海釣り公園**  
高浜の海釣り公園では、季節に応じて色々な魚種の釣りを楽しめます。  
※4月～11月営業

**2 港湾施設**  
毎日新鮮な魚が仲買いさんによって競り落とされ、各地へと送られていきます。  
※年3回市営競り

**3 はもと加工販売所**  
高浜漁港でとれた新鮮な魚介の干しや、低未利用魚を活用した加工食品を製造・販売。

**4 高浜町漁村文化伝承館**  
日本に数えるほどしかない漁村文化伝承館。高浜の漁師の生活・文化に今伝えています。

**5 貝井春治郎アトリエ**  
漁師兼画家であった、貝井春治郎の漁師小屋兼アトリエ。現在一般公開を企画中。

**2021年にオープン予定の、魚に特化した商業施設「UMIKARA（うみから）」。海や漁港と隣接した立地条件を存分に活かしてさまざまなコンテンツを準備中！**

**A** **TERRACE CAFE**  
スペシャルメニューが手軽に食べられる海の家のようなテイクアウトカフェ。  
※夏季営業

**B** **2F**  
海を臨む、風のぬけるテラスでは夏に屋外でランチやピアガーデンが楽しめます。

**C** **1F**  
海辺では、新鮮な魚を漁師さんから直接買える星市イベントを開催。

**D** **E**  
大きな窓から海が見えるレストランではここだけの時間が過ごせます。  
幼児連れでも安心して食事を楽しめあがりのスペース。

**F** **UMIKARA CAFE**  
コーヒーでひと休みしながら、高浜の最先端の商品を貰えるカフェ&ショップ。

**G**  
水槽で泳いでいる魚を、その場で選んでレストランで食べられます。

**H**  
新鮮な魚を一番おいしく食べられるようにさばき方を提案してもらえます。

**SPEC**  
・鉄筋コンクリート造 2階建て  
・床面積: 1591.41m<sup>2</sup>  
・用途: マーケット一体型レストラン  
・レストラン収容数: 110席 (TFテラス含む)



Photo by © Yohei Sasakura

## 5-5. スマートな働き方・暮らし方・生き方。新たな交流で「シーサイドライン」をUpdate

高浜最大の地域資源である海。若狭和田から脇坂までの8キロのシーサイドラインを次世代技術でつなぎ、新たなライフスタイルを見える化。働き方、暮らし方、生き方を、民間活力を誘導しながら衣食住をアップデートしていく。



### 若狭和田ビーチ

ブルーフラッグ  
キャンプ・ワーケーション  
観点場・コワーキング  
etc

### 白浜 グランピング

お手軽・高級キャンプ  
サーフィン・SUP  
アウトドア体験 etc

### 城山公園 城山荘再整備

長期滞在  
テレワークセンター  
ワーケーション etc

### 高浜漁港 再整備

UMIKARA  
市場  
はもと加工場  
etc

### スマートタウン モデル整備

スマート住宅  
テレワーク  
ワーケーション  
etc

### 中寄眺望広場

観点場  
休憩所・案内看板  
駐車場  
etc

### 脇坂公園

芝生広場・遊具  
イベントスペース  
駐車場  
etc

#### 4. 市街地の骨格・導線

#### シーサイドライン(海沿いの遊歩道)の創出

海沿いに、スマートタウンモデル地区整備（若宮苑）、UMIKARA（高浜漁港再整備）、城山公園・城山莊再整備、青の松原（白浜）、中寄眺望広場整備など、高浜町の最大の魅力である海を活かしたまちづくりが進んでいる。この海を活かした住環境と公園・集客施設をつなぐ『シーサイドライン（海沿いの歩道）』を、ひと・もの・ことが循環する仕組みやデザイン、スマート技術の導入によりUpdate（アップデート）していく。

中寄眺望広場

シーサイドライン（海沿い）スマートタウンのモデル整備

広域交通軸：国道27号

高浜町の主要幹線道路として重要な広域交通軸。  
旧丹後街道のバイパスとして整備され、スーパー・や金融機関・警察・  
消防・役場・公民館等の施設も沿道へ移転している。

今後、この広域交通軸と住環境・海辺のシーサイドラインがつながり、ひと・もの・ことが循環する仕組みづくりを推進していく。

## 広域公共交通網:JR小浜線の利用促進

高浜町の通学・通勤、高齢者の足として重要な公共交通網。東舞鶴一敦賀間を走るJR鉄道で、2024年春の北陸新幹線延伸での重要な交通網として位置づけられるが、乗降客数の減少で、便数が大幅に減るなど検討されており、存続へ向け乗降客数の底上げが必要である。

広域交通軸とシーサイドラインをつなぐ南北軸の創出

地域の広域交通軸である国道27号が整備されたことで、市街地が南へと広がった。この広域交通軸である国道27号と、高浜町の最大の魅力である海、その海を感じることのできる海沿いの遊歩道を利活用したシーサイドラインを創出し、これを南北につなぐ導線として、「駅前通り」「佐伎治神社前通り」を整備していく。

公園・こども園とつながる道の創出

高浜保育所が園部へ移転し、(仮称) 高浜公園も整備されることから、中心地と結ぶ導線(歩ける環境づくり)を子生川沿いの自然を生かした形で進めていく



国土地理院航空写真 2013年7月撮影  
0 100m 300m 500m

